



環境経営レポート2018

報告期間：2018年 6月 1日 ～ 2019年 5月 31日

VAIO株式会社

発行日：2019年 8月 26日

改訂日：2019年 11月 7日



目次

1. 会社概要	3
2. 環境活動組織	4
3. 環境経営理念・環境経営方針	5
4. SDGs への貢献	6
5. 製品環境活動	7
6. サイト環境活動	13
7. 取り組み事例	17
8. 環境コミュニケーション	23
9. 環境教育・緊急時対応訓練	24
10. 社会貢献活動	25
11. 使用済み製品のリサイクル	27
12. 環境関連法規制の遵守評価	28
13. 環境マネジメントレビュー	29

1. 会社概要

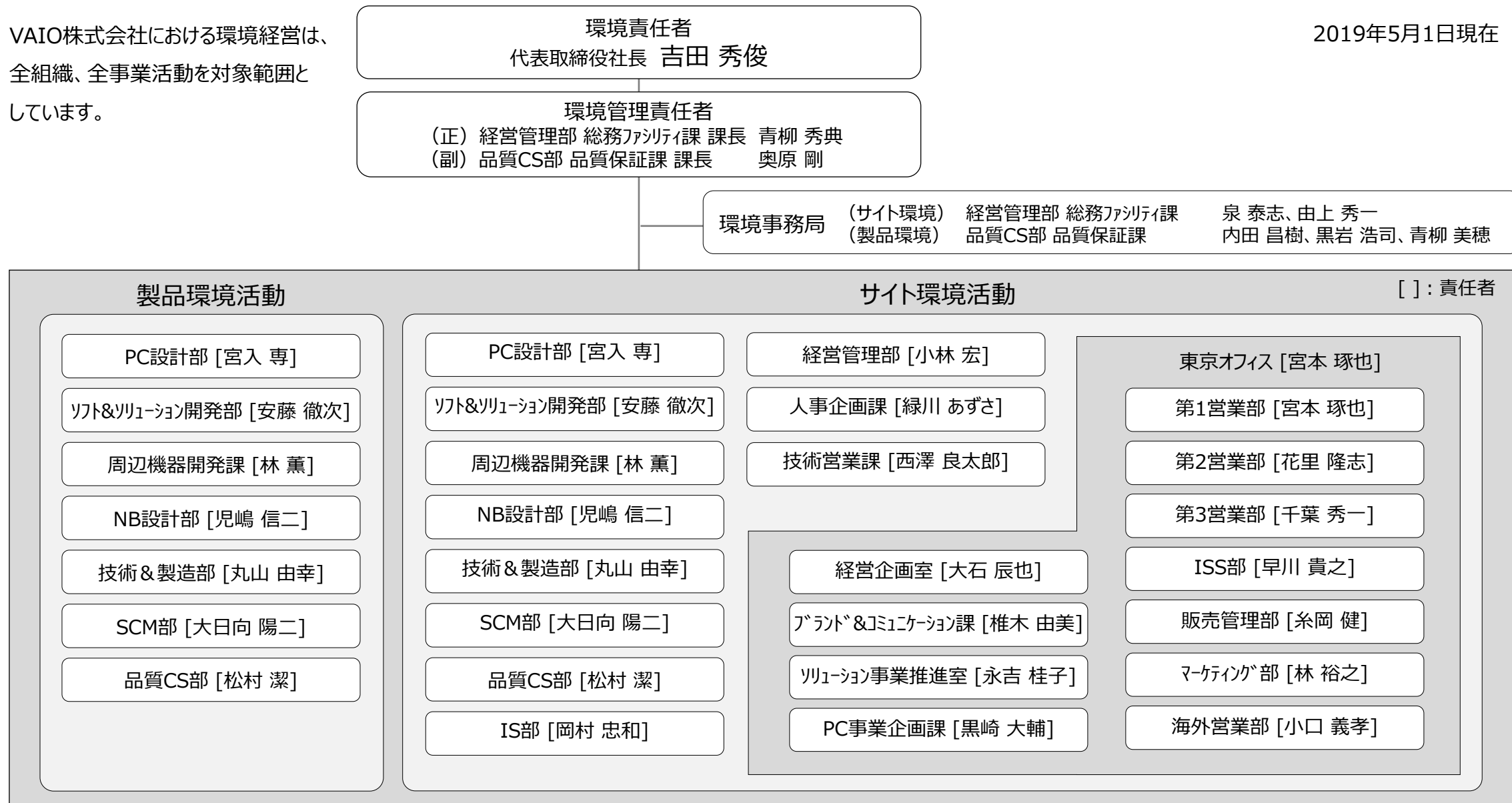
会社名	VAIO株式会社		
設立日	2014年7月1日		
代表取締役社長	吉田 秀俊		
本社・本社工場	〒399-8282	長野県安曇野市豊科5432	TEL : 0263-87-0810 (代表)
東京オフィス	〒140-0002	東京都品川区東品川4-12-6 日立ソリューションズタワーB14階	TEL : 03-6420-0960 (代表)
URL	https://vaio.com/		
事業内容	PC事業、受託事業 (EMS事業) : 企画、設計、開発、製造および販売と、それに付随するサービス		
事業年度	6月～5月		
資本金	1,026百万円 (資本準備金含む)		
	本社・本社工場	東京オフィス	
従業員数	395人	49人	(派遣社員等含む)
延床面積	30,486m ²	676m ²	
環境責任者	吉田 秀俊		
環境管理責任者	(主) 青柳 秀典 (副) 奥原 剛		
環境事務局	(サイト環境) 泉 泰志、 由上 秀一 (製品環境) 内田 昌樹、 黒岩 浩司、 青柳 美穂		



2. 環境活動組織

VAIO株式会社における環境経営は、
全組織、全事業活動を対象範囲と
しています。

2019年5月1日現在



3. 環境経営理念・環境経営方針

2018年7月24日「環境方針」を「環境経営方針」へ改定し、SDGs への貢献を明記しました。

【 環境理念 】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、環境と調和した事業活動を行い、
永くお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

【 環境方針 】

1. 環境配慮型商品創りに向けた設計・開発を実施します。
2. 事業活動に於ける省エネ推進によりCO₂排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物排出量の削減、リサイクル化推進に努めます。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。

環境方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。
また、環境方針は社外にも公表します。

制定日：2015年1月28日
改定日：2017年6月15日

VAIO株式会社
代表取締役社長 吉田秀俊

【 環境経営理念 】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、身近な環境に限らず、国際的な
環境活動と調和した事業活動を行い、永く世界のお客様に愛される商品づくりを
目指していきます。

【 環境経営方針 】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及びSDGs
の達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化により、CO₂排出量を削減
します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化推進により、廃棄物を削減します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。
また、環境経営方針は社外にも公表します。

制定日：2015年1月28日
改定日：2018年7月24日

VAIO株式会社
代表取締役社長 吉田秀俊

4. SDGs への貢献

2018年度は、SDGs の 17ゴールに対して、
9ゴールに貢献しています。

✓：貢献中

貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	成長・雇用	イノベーション	不平等	都市	生産・消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段
																

製品環境	本体重量削減										✓	✓		✓		
	消費電力削減（オフ時、年間）					✓						✓				
	PVC, BFR, ハロゲンのフリー化					✓										
サイト環境	CO ₂ 廃出量削減					✓					✓	✓		✓		
	廃棄物排出量削減、リサイクル率向上					✓					✓	✓		✓		
	水道使用量削減					✓					✓					
	グリーン購入率向上													✓		
部署の活動	働き方改革（早残・ノー残、テレワーク、有給休暇奨励日、アドレスフリー、Expo）				✓		✓	✓								
	業務効率改善（実装ライン戦略的削減、システム化、自働化、ムダ取り）						✓	✓			✓					
	包装小型軽量化、輸送効率改善						✓					✓		✓		
	金型流用、部品流用						✓				✓	✓				
	環境配慮製品の拡販、品質改善						✓				✓	✓				
	外部とのコミュニケーション、イノベーション、社会貢献活動			✓			✓		✓		✓	✓				

5. 製品環境活動

目標設定

PC製品における環境目標は、
2014年度を基準年度とし、2020年度までに達成すべき目標を設定しています。
2020年度に至る各年度目標は、2020年度目標をバックキャストして設定しています。
2021年度以降の目標は、2019年度に2025年度目標を設定する計画です。



2018年度の結果

活動テーマ	取り組み	対象	単位	2018年度		
				目標	実績	評価
資源の有効利用	製品本体重量の削減 (インチ当たり)	モバイルPC	Kg/in.	0.084 以下	0.081	○
		A4フルノート	Kg/in.	0.149 以下	0.141	○
エネルギー使用の合理化	年間消費電力の削減 (インチ当たり)	モバイルPC	kWh/in.	1.20 以下	1.47	△
		A4フルノート	kWh/in.	1.69 以下	1.48	○
	オフ時消費電力の削減	すべてのPC	W	0.5 以下	0.35	○
懸念化学物質の削減	PVCフリー・BFRフリー・ ハロゲンフリー化	すべてのPC	%	100	100	○

※当該年度に発売を開始したモデルの平均値を示しています。

※年間消費電力は、国際エネルギースタープログラム（平成31年2月1日基準）による標準年間消費電力量（E_{TEC}）です。

※オフ時消費電力は、国際エネルギースタープログラム（平成31年2月1日基準）によるオフモード消費電力（P_{OFF}）です。

※インチあたりとは、PCの画面サイズ（型＝インチ）で除した値です。

製品環境アセスメント

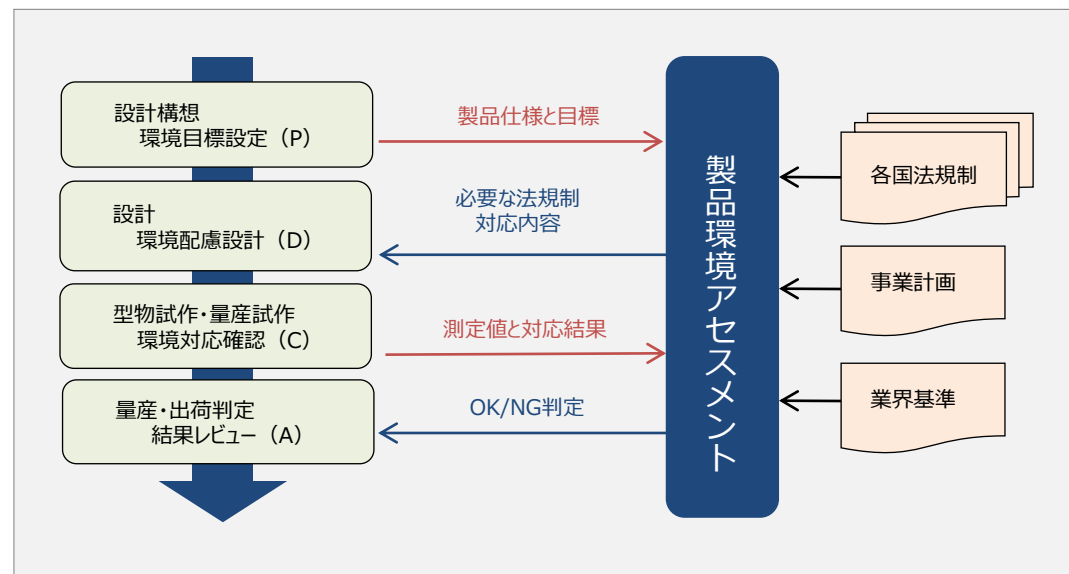
VAIO株式会社では、製品における環境配慮設計と環境法規制を遵守するため、「製品環境アセスメント」を実施しています。

製品環境アセスメントは、設計部門が行う商品化プロセスにおいて、環境目標設定(Plan)、環境配慮設計(Do)、環境対応・環境法規制遵守確認(Check)、および結果のレビュー(Action)のすべての段階で活用することができるものです。

2018年度も、全モデルの製品環境アセスメントを実施し、環境目標の達成度、自社基準および環境法規制を遵守していることを確認・評価しています。



VAIO株式会社における商品化プロセスと製品環境アセスメントの役割



製品環境アセスメントにおける評価項目

1. 環境関連物質の管理
 - 1.1 ハロゲンフリー対応
 - 1.2 PVCフリー対応
 - 1.3 アレルギーへの配慮
 - 1.4 シックハウス症候群への配慮
 - 1.5 電池の環境管理物質管理
 - 1.6 水銀フリー対応
 - 1.7 化審法・CLP
 2. 3R推進
 - 2.1 リデュース
 - 2.2 リユース
 - 2.3 リサイクル
 3. 省エネルギー
 - 3.1 ACアダプターの国際効率レベル
 - 3.2 搭載している省電力機能
 - 3.3 オフ時消費電力
 - 3.4 年間消費電力
 - 3.5 バッテリーライフ
 4. 包装
 - 4.1 包装材料
 - 4.2 印刷用インク
 - 4.3 包装材の廃棄容易性
 - 4.4 包装材重量・サイズ
 5. 取説・情報提供
 - 5.1 開示情報と説明内容
 - 5.2 附属書類（紙・インク・重量）
- 各仕向け法規制確認
- ・本体表示
 - ・取説表示
 - ・包装表示
 - ・認証と登録
 - ・環境管理物質

製品本体重量の削減

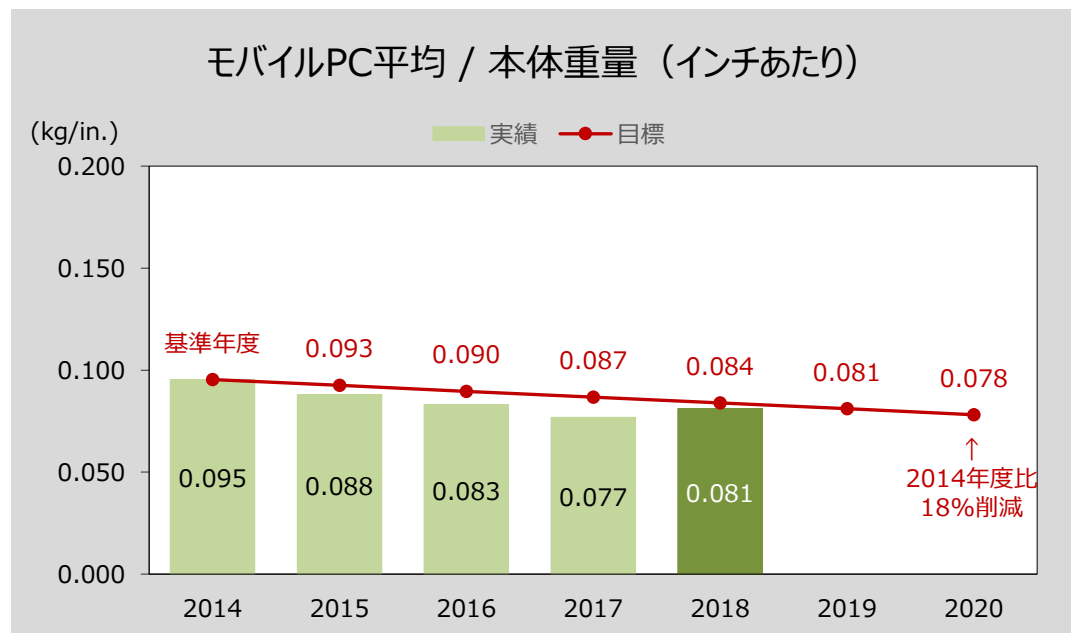
モバイルPC

モバイルPCの「製品本体重量の削減」は、2018年度目標を達成しました。

VAIO A12 / VAIO Pro PA は、タブレット側とキーボード部が分離するデタッチャブル構造を持つ 2 in 1 PC ですが、細部に渡り軽量化を行った結果、キーボード合体時でも約1kgの軽量化に成功しました。

VAIO SX14 / VAIO Pro PK は、13.3型ディスプレイ搭載の VAIO S13 のフットプリントと厚さはそのままに、一回り大きい14.0型ディスプレイを搭載したPCです。大画面化は本来であれば、重量が大幅に増加する要因ですが、本体構造・素材の徹底的な見直しによって、約999g*の超軽量ボディを実現しています。

* VJS14190311B/0411T/0511B



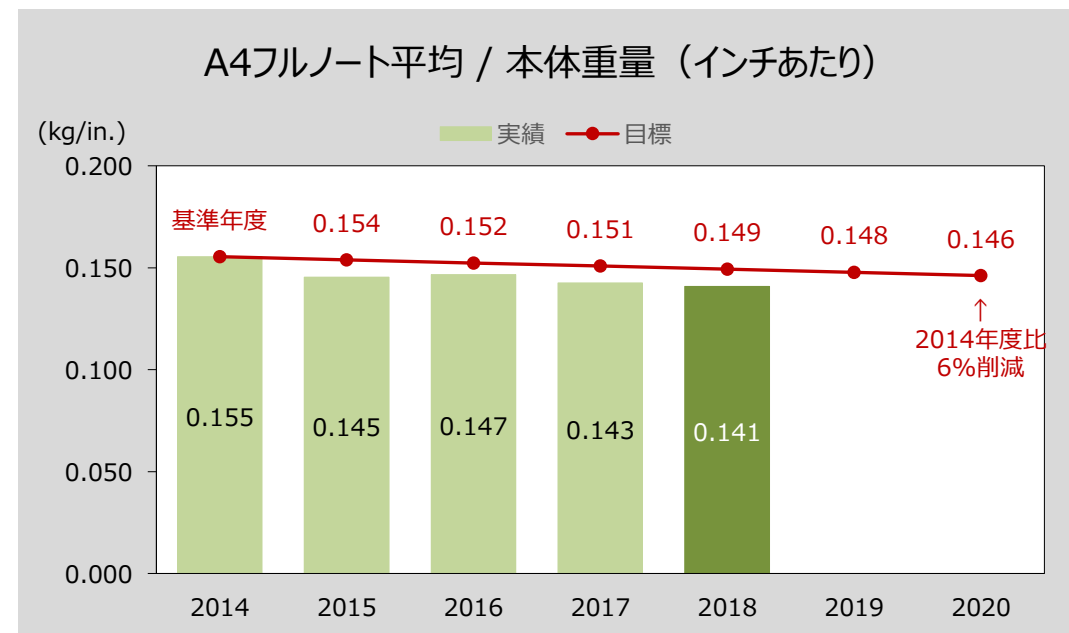
A4フルノート

A4フルノートの「製品本体重量の削減」は、2018年度目標を達成しました。

VAIO S15 / VAIO Pro PH は、

- 従来モデル（15.5型）よりも軽量の15.6型ディスプレイを採用
- 内蔵バッテリーパックの軽量化
- 構造のシンプル化
- 部品点数の削減

などの対応を行うことで、インチ当たりの製品本体重量の削減に成功しました。



年間消費電力の削減

モバイルPC

モバイルPCの「年間消費電力の削減」は、2018年度目標を22.5%オーバーする結果となりました。

しかしながら、VAIO SX14 / VAIO Pro PK では、VAIO独自のチューニング「VAIO TruePerformance®」により、実作業でのパフォーマンスが約25%向上したこと、

VAIO A12 / VAIO Pro PA / VAIO SX14 / VAIO Pro PK においては、USB Type-C によるアシスト充電機能の搭載により、AC電源を使用しなくても、お客さまがお持ちのスマホ用モバイルバッテリーが使用可能になるなど、利便性が向上したことを加味し、評価を“△”としました。

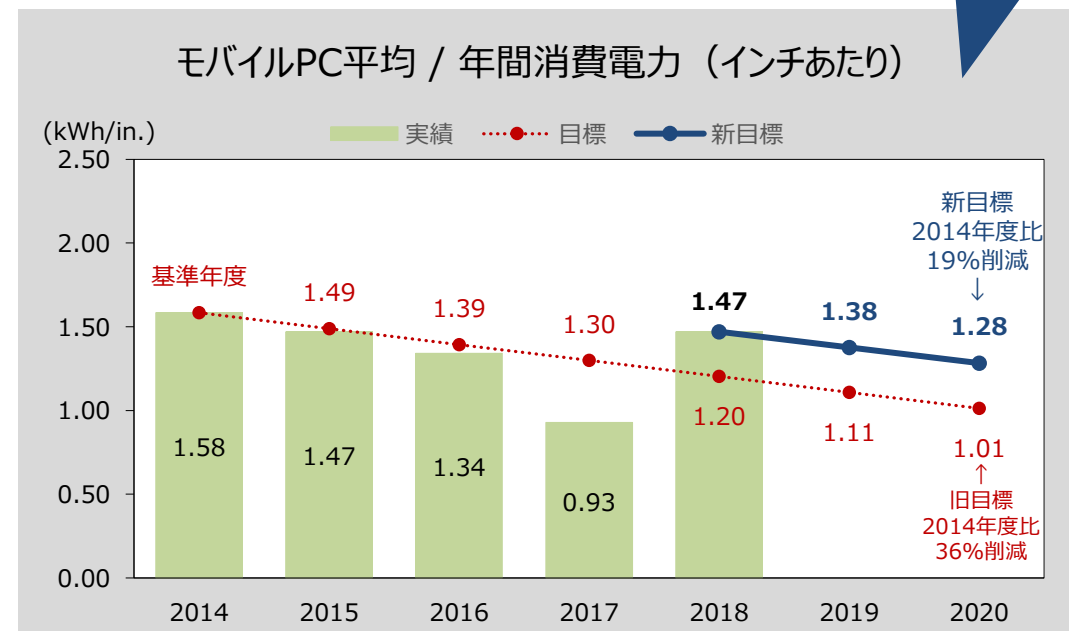
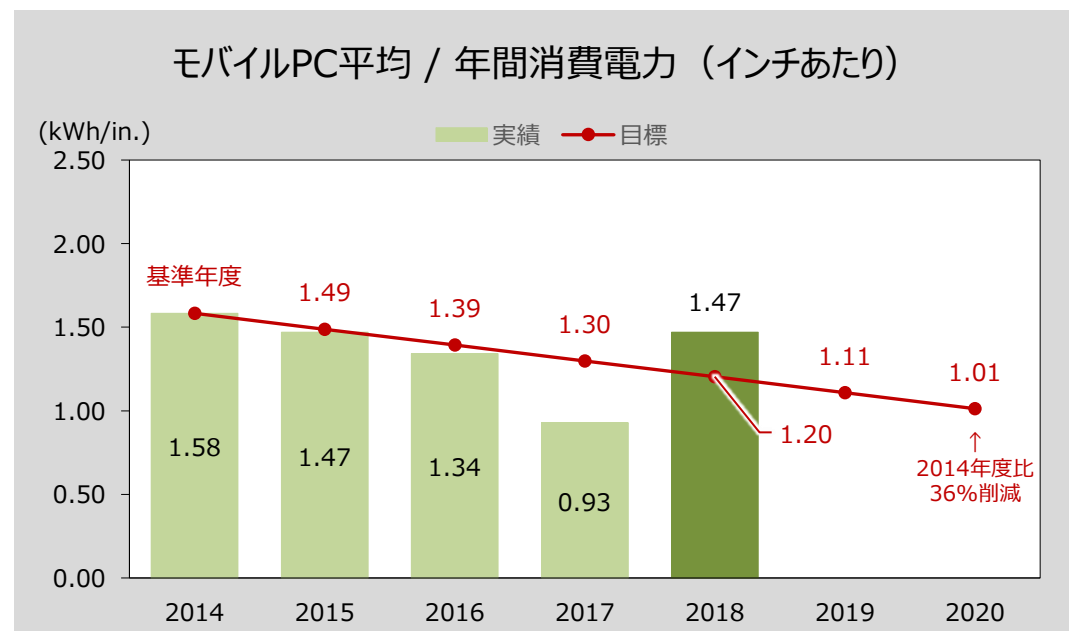
2018年度は商品力向上のため消費電力が上がってしまいましたが、2019年度はこの商品力をキープしつつ消費電力を下げるため、以下の取り組みを行います。

2019年度モデルでの取り組み内容

- CPU省電力機能の確実な実装
- 各デバイスの省電力機能の確実な実装

そのために持続可能な新たな消費電力目標を設定し、魅力ある製品作りと消費電力削減の両立を目指していきます。（目標の見直し）

目標の見直し



年間消費電力の削減

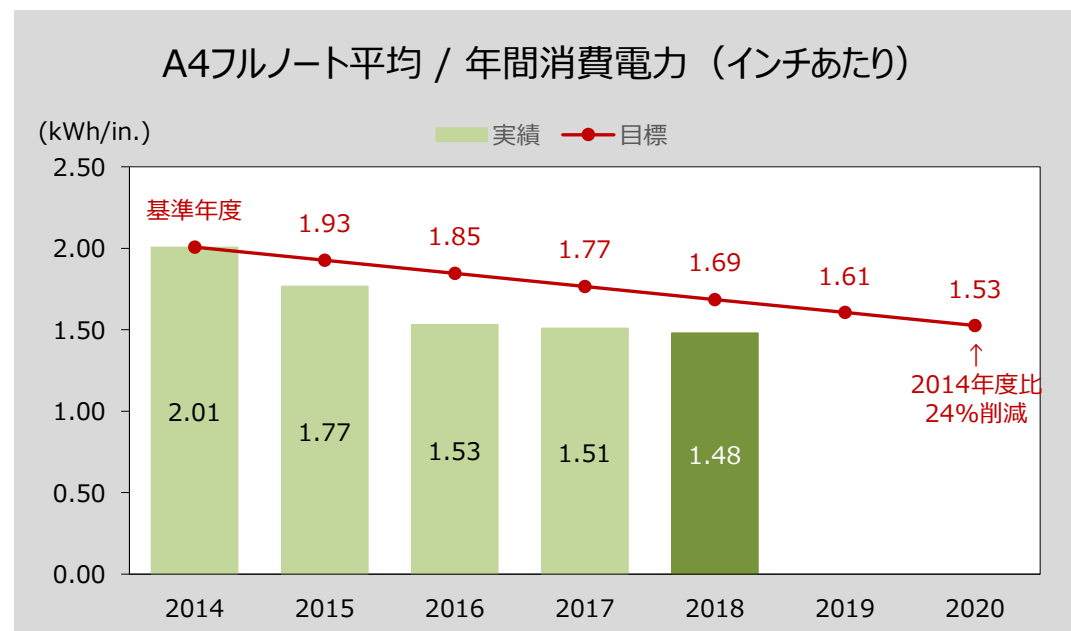
A4フルノート

A4フルノートの「年間消費電力の削減」は、2018年度目標を達成しました。

VAIO S15 / VAIO Pro PH は、

- デスクトップPCに迫る超高速ヘキサコア（6コア/12スレッド）プロセッサ搭載
- 広く使えて細部もくっきり見える15.6型4k高品質ディスプレイ搭載
- Ultra HDブルーレイ対応の次世代光ディスクドライブ搭載

など、パワフルで大画面高精細な持ち運べるデスクトップを実現しながらも、緻密な電力コントロールを行うことで、低消費電力を実現しました。



オフ時消費電力の削減

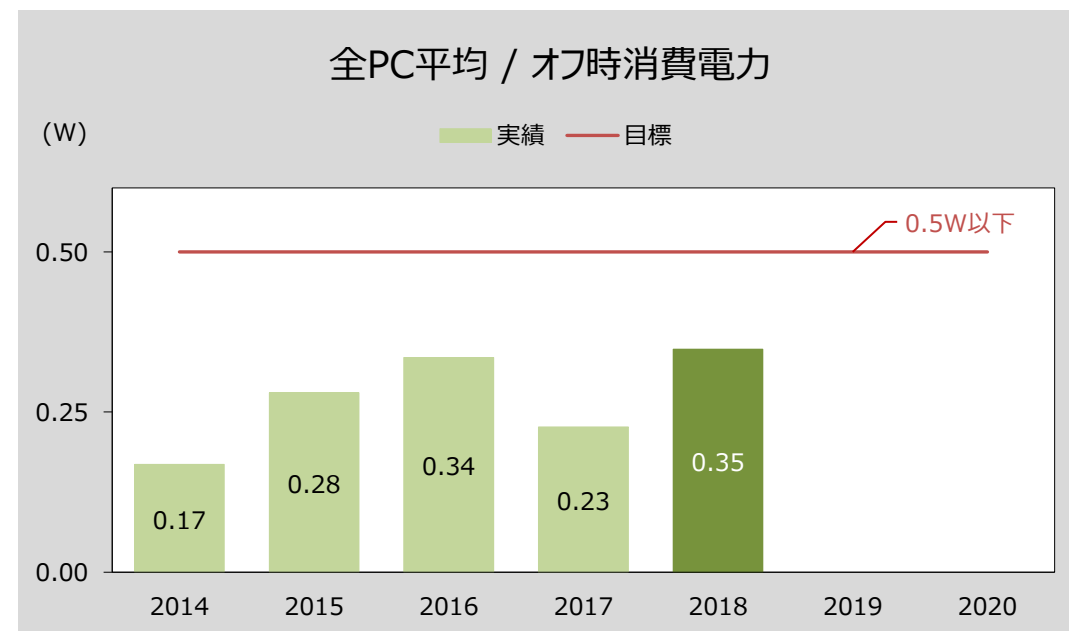
すべてのPC

すべてのPCを対象とした「オフ時消費電力の削減」は、2018年度目標を達成しました。

すべてのPCにおいて、

- 電源オフ時のリーク電流確認
- 電源オフ時のEC省電力機能実装

を行い、オフ時消費電力0.5W以下という極めて高いレベルの目標を継続達成しています。



PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化

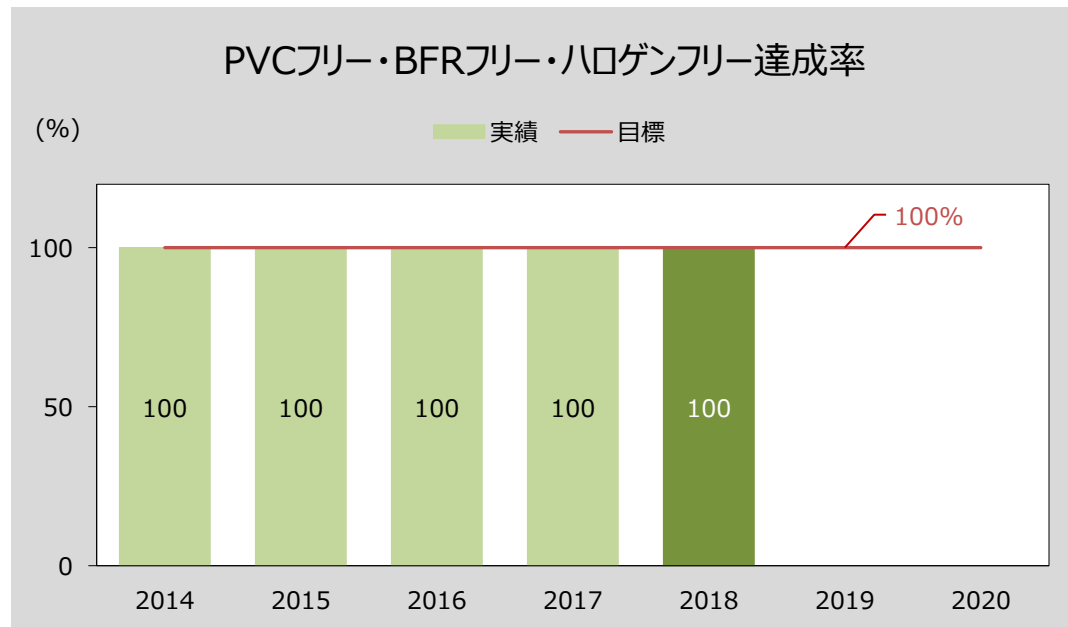
すべてのPC

すべてのPCを対象とした「PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化」は、2018年度目標を達成しました。

すべてのPCにおいて、

- 機器内部で使用しているハーネス被覆材のPVCフリー化
- 20g 以上の樹脂筐体のBFRフリー化
- 20g 以上の基板のハロゲンフリー化

を実施し、達成率100%を継続しています。



VAIO株式会社では、化学物質の有害性と暴露量を考慮したリスク評価の考え方に
基づき、収集した用途情報と含有情報からリスクの高い用途を特定し、その用途にお
ける使用を全廃していくことを推進しています。

■ PVC (ポリ塩化ビニル) フリーの目的

PVCは、不適切な処分により有害な物質が生じるリスクが指摘されており、またPVCの可塑剤、
安定剤として使用される物質の一部には、環境面および人体への影響が懸念されているもの
があります。有価物を回収するために小型電子機器が集められ、不適切な焼却・埋め立てを
された場合の環境影響も考慮し、PVCのフリー化を推進する。

■ BFR (臭素系難燃剤) フリー・ハロゲンフリーの目的

BFR・ハロゲン系化合物の中には、人体への影響が懸念されているものや環境中に残留する
もの、生体内に蓄積性を持つものがあり、不適切な焼却で有害な物質が生じるリスクが指摘
されている点も考慮し、BFRフリー・ハロゲンフリー化を行う。

※PVCフリー：PVC（ポリ塩化ビニル）を使用していないことを指します。

※BFRフリー：BFR（臭素系難燃剤）を意図的添加していないことを指します。

※ハロゲンフリー：Cl≤900 ppm, Br≤900 ppm, Cl+Br≤1500 ppmであること。

6. サイト環境活動

目標設定

サイト環境におけるCO₂排出量および廃棄物排出量は、事業規模による変動があるため、売り上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに2016年度の実績を『100』として換算した原単位を用いています。2016年度を基準年度とし、2017年度以降は年2ポイントずつ削減することを目標としています。

2018年度の結果

取り組み	単位	2018年度		
		目標	実績	評価
CO ₂ 排出量の削減	原単位	96 以下	77	○
廃棄物排出量の削減	原単位	98 以下	80	○
リサイクル率の向上	%	90.0 以上	92.7	○
水道使用量の削減	m ³	14,400 以下	13,091	○
グリーン購入率の向上	%	90.0 以上	94.9	○

※原単位について：売り上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに、2016年度の実績を『100』として換算したものです。

※電力の二酸化炭素排出係数：本社・本社工場：0.000485 t-CO₂/kWh（中部電力2016年度実排出係数），東京オフィス：0.000486 t-CO₂/kWh（東京電力パワーグリッド2016年度実排出係数）

CO₂排出量の削減

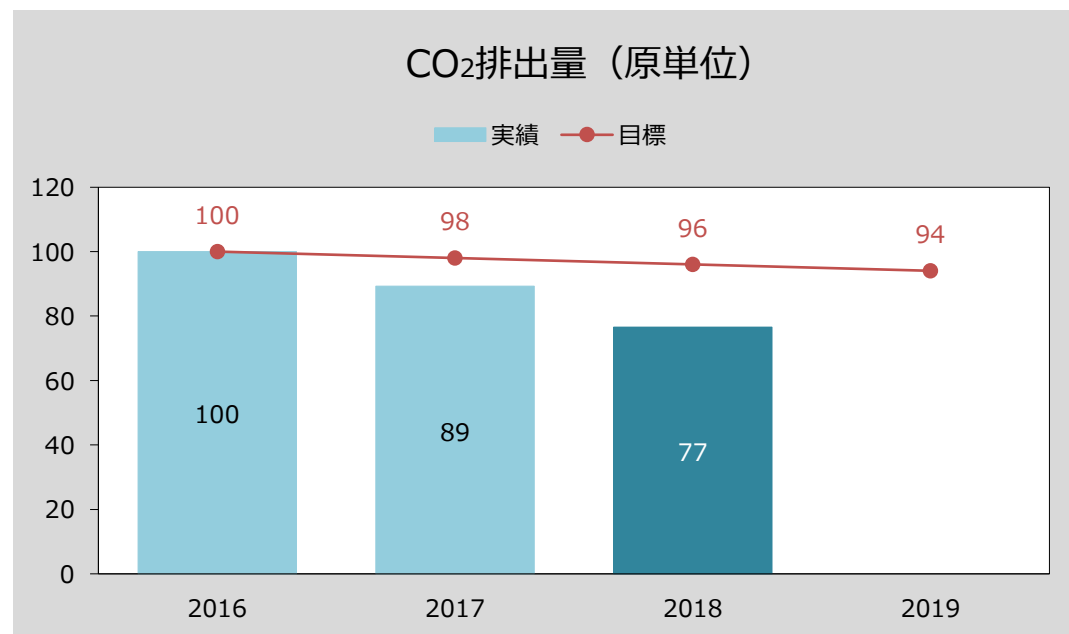
全社（本社・本社工場 + 東京オフィス）

全社における「CO₂排出量の削減」は、2018年度目標を達成しました。

取り組み

- 温度管理の徹底（冬20℃、夏28℃）：本社・本社工場、東京オフィス
- 内外温度を確認し外気の取り込みにより温度調整：本社・本社工場
- 実装ラインの戦略的削減：本社・本社工場

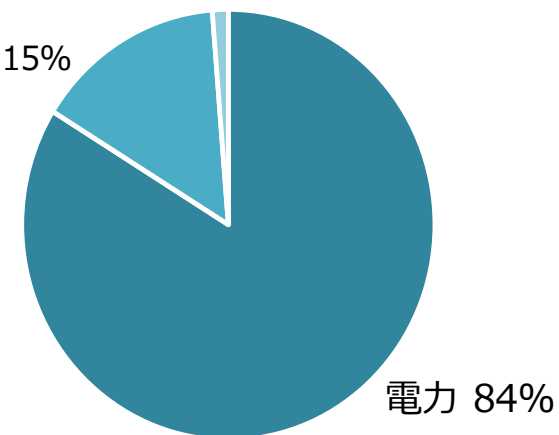
結果	本社・本社工場	1,786 t-CO ₂	97.5%
	東京オフィス	45 t-CO ₂	2.5%
	合計	1,831 t-CO ₂	100%



2018年度 CO₂排出要因内訳

その他（LPガス、社有車燃料、灯油） 1%

A重油 15%



全社における「CO₂排出要因の内訳」は、

1. 電力 84%
 2. A重油 15%
 3. その他 1%（LPガス、社有車燃料、灯油）
- と、昨年度とほぼ同等でした。

その他（LPガス、社有車燃料、灯油）は、全体に占める割合が1%と小さいため、削減目標は設定せず監視項目としています。2018年度は異常値の発生はありませんでした。

廃棄物排出量の削減

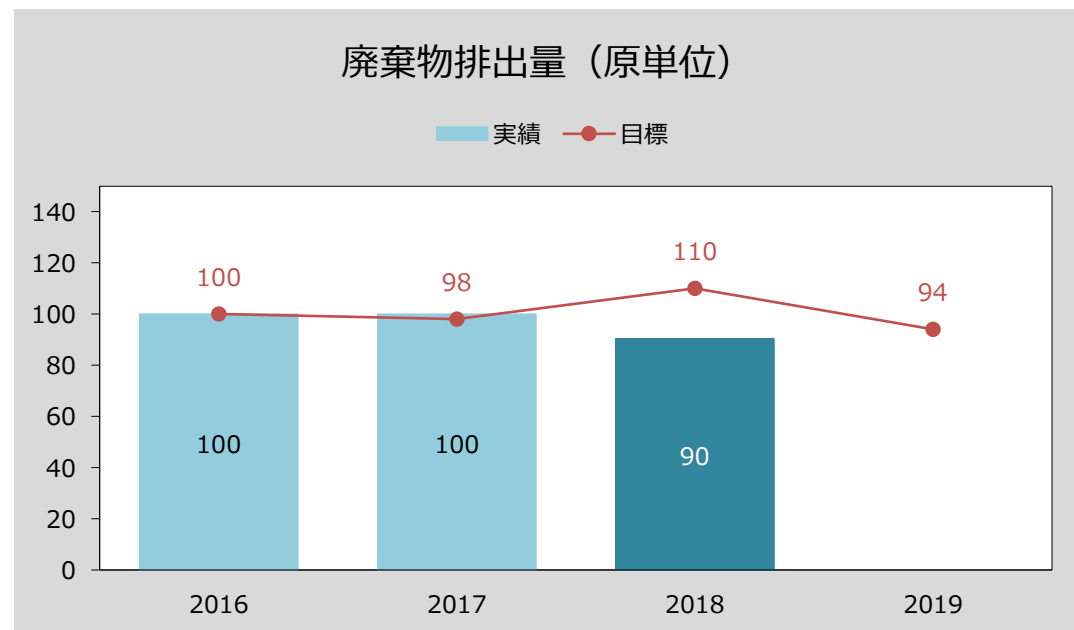
全社（本社・本社工場 + 東京オフィス）

全社における「廃棄物排出量の削減」は、2018年度目標を達成しました。

当初、法人向け事業拡大と新規ビジネス導入にともない、昨年度より増加となる目標を設定しましたが、下記取り組みにより大幅に削減しました。

- 廃棄物から有価物への推進（段ボールの有価化）
- 電子化推進、両面コピー、裏紙使用
- 廃棄物データ分析の継続

結果	本社・本社工場	94.1 t	99.2%
	東京オフィス	0.8 t	0.8%
	合計	94.9 t	100.0%



リサイクル率の向上

全社（本社・本社工場 + 東京オフィス）

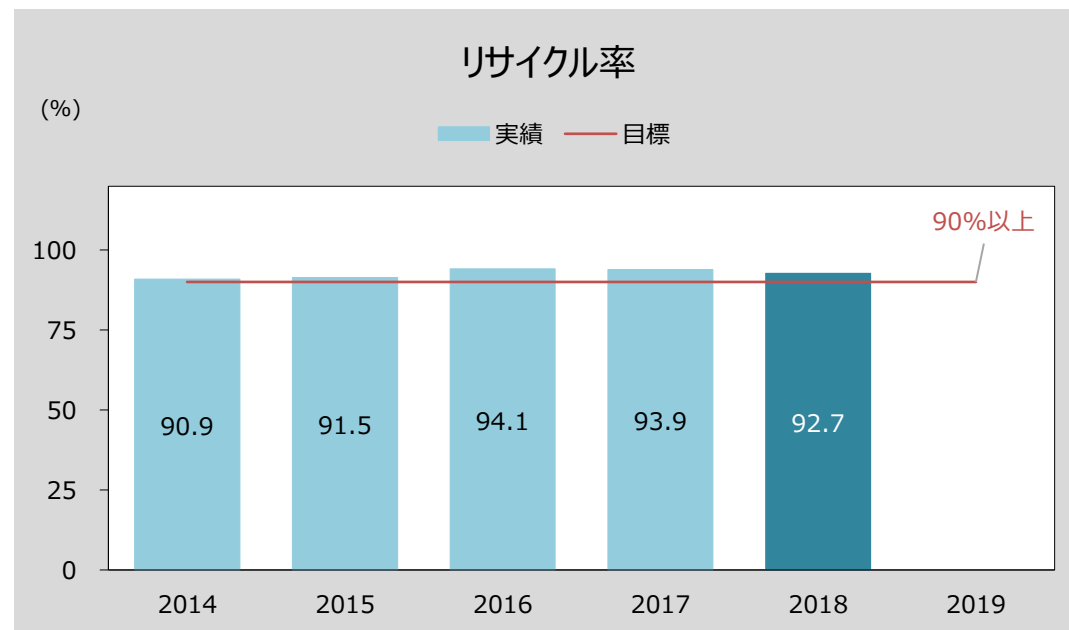
全社における「リサイクル率の向上」は、2018年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 各職場に「リサイクルステーション」を設置
- 分別徹底の推進（リサイクルステーションの監視強化）
- 一般可燃物削減に向けた分別強化

を実施しました。

これにより 90% 以上のリサイクル率を継続達成しています。



水道使用量の削減

本社・本社工場

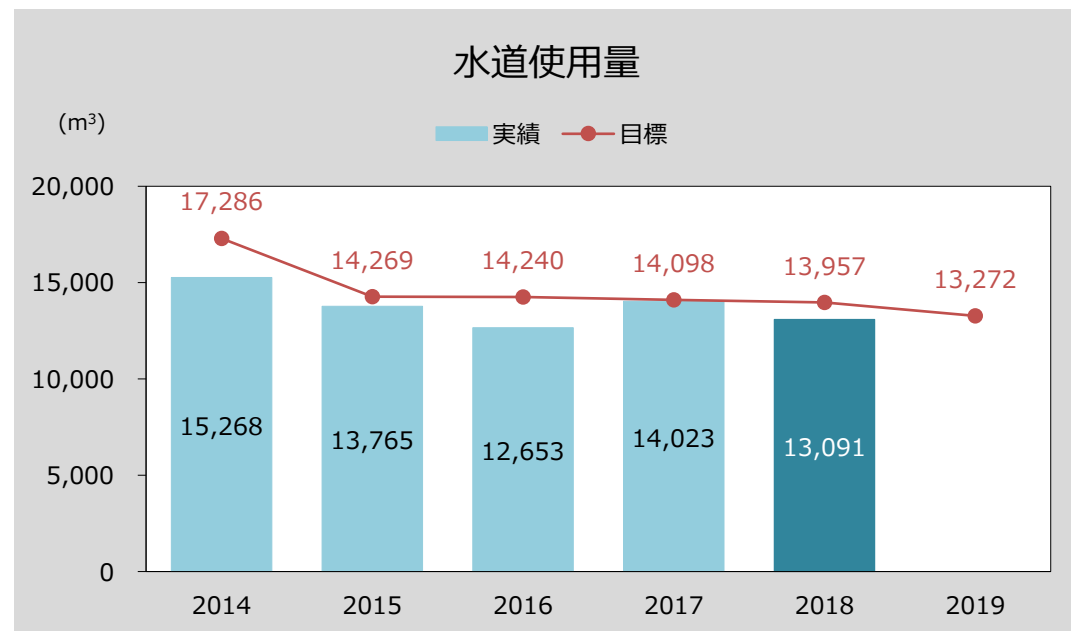
本社・本社工場における「水道使用量の削減」は、2018年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 日常生活での節水の啓発
- 水道蛇口の水量調整を各所洗面台へ展開
- 水量データの計測・分析を行い、漏水の有無と漏水エリアの割り出し、漏水の点検に展開

を実施しました。

東京オフィスにおいては、テナントビルのため目標管理はせず、節水の啓発のみを実施しました。



グリーン購入率の向上

全社（本社・本社工場 + 東京オフィス）

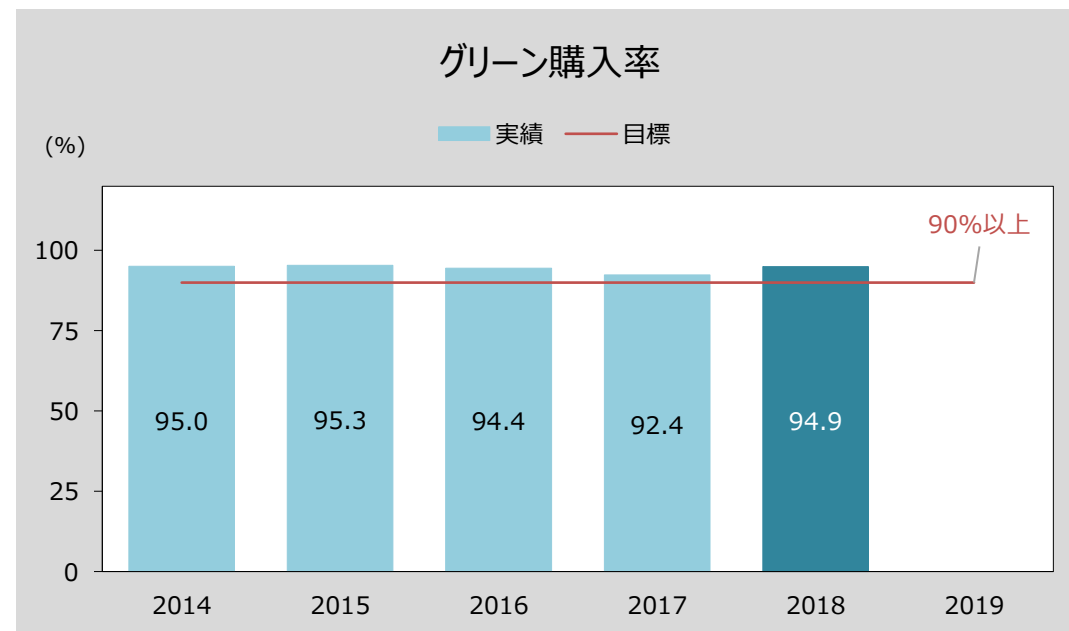
全社における「グリーン購入率の向上」は、2018年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 購入依頼品がグリーン商品であるかチェック
- グリーン商品でない場合、可能な限り変更を促す

を実施しました。

これにより 90% 以上のグリーン購入率を継続達成しています



7. 取り組み事例

事例① “梱包の小型化” ～環境に配慮してより薄く、より軽く～

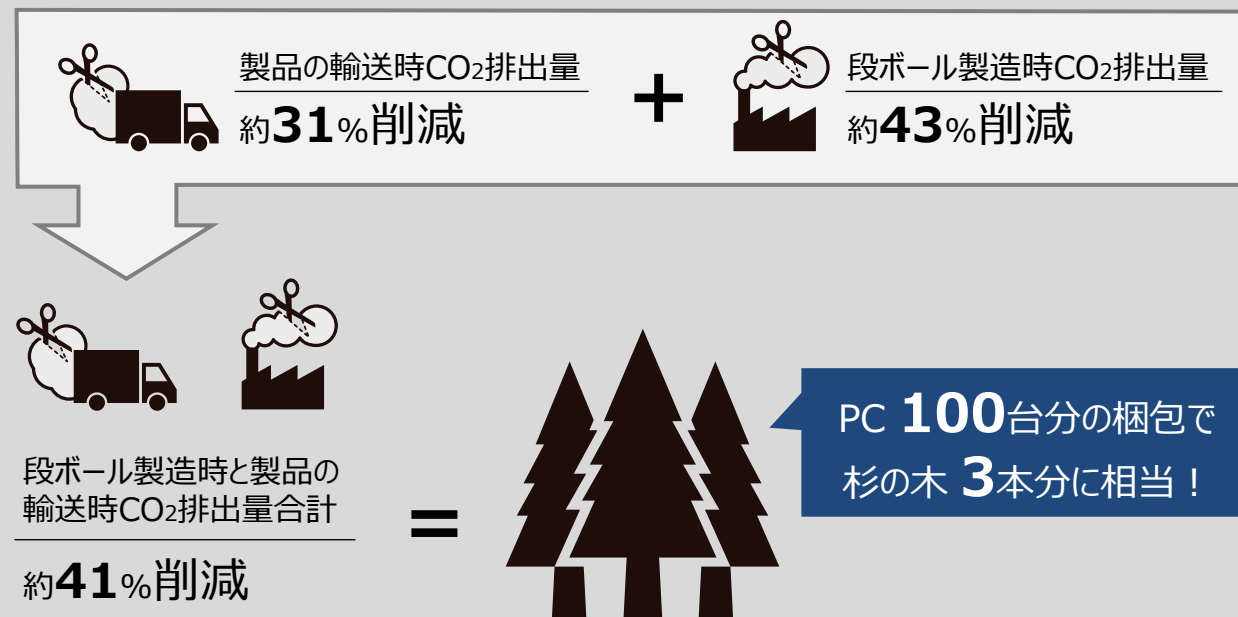
段ボールの使用量はなんと約半分に！



効果

容積	約 25% 減容
積載効率	約 35% 向上
段ボール使用量	約 50% 削減
共通化	11～14 インチモデル 共通

CO₂削減効果を「杉の木換算」すると!?



※ 杉の木は、1本あたり1年間で約14kg-CO₂の二酸化炭素を吸収するといわれています。 環境省/林野庁「地球温暖化のための緑の吸収源対策」より。

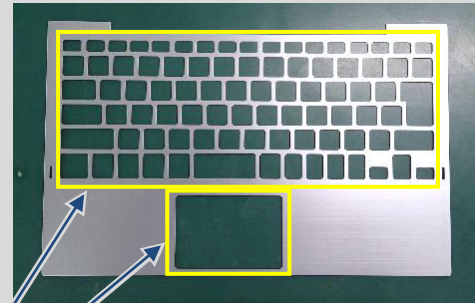
事例② “金型の流用” ～金型の流用で初期投資と環境負荷を削減～

パームレストの初期投資は約3割減！

VAIO S13



VAIO A12



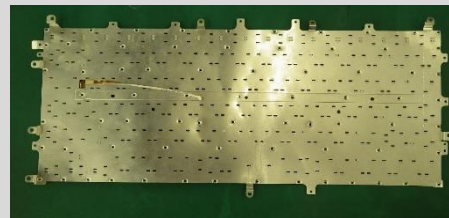
キーボード、タッチパッド穴：金型流用

効果

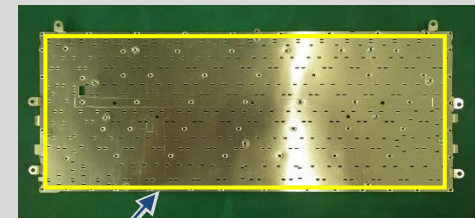
金型初期投資	約 31% 削減
金型製造時CO ₂ 排出量	約 25% 削減 ※想定
品質	試作段階で 量産品質
	設計・評価工数 大幅削減

キーボードの初期投資はなんと約7割減！

VAIO S13



VAIO A12



キーボード バック プレート：金型流用

効果

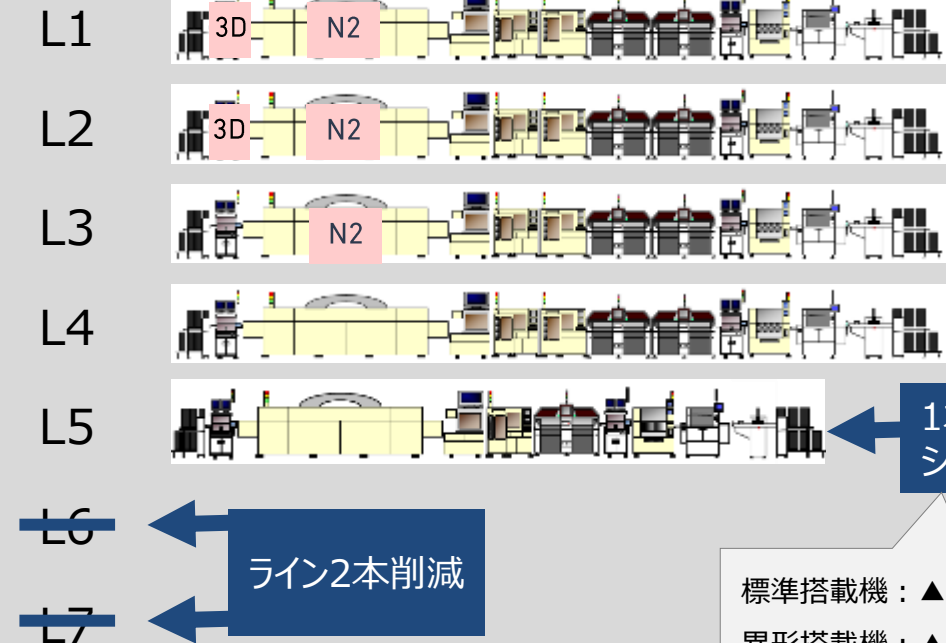
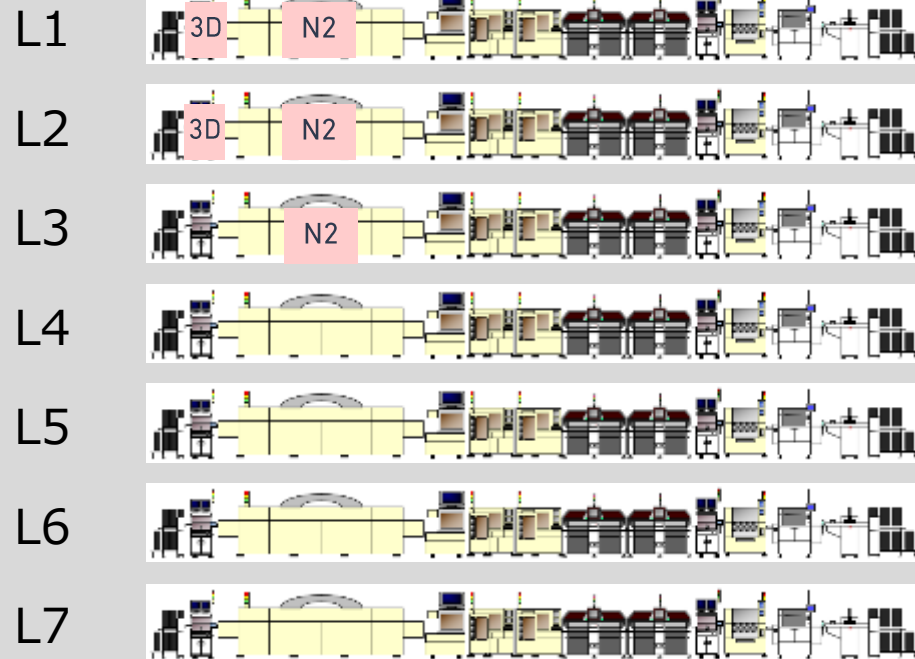
金型初期投資	約 68% 削減
金型製造時CO ₂ 排出量	約 54% 削減 ※想定
品質	試作段階で電氣的 問題発生なし
	設計・評価工数 大幅削減

事例③ “実装ラインの戦略的削減” ～設備リース料と環境負荷を削減～

実装ラインの設備リース料をなんと半減！

～2017：7本

2018：4.5本



効果

設備リース料
電力使用量
CO₂排出量

約**52%** 削減

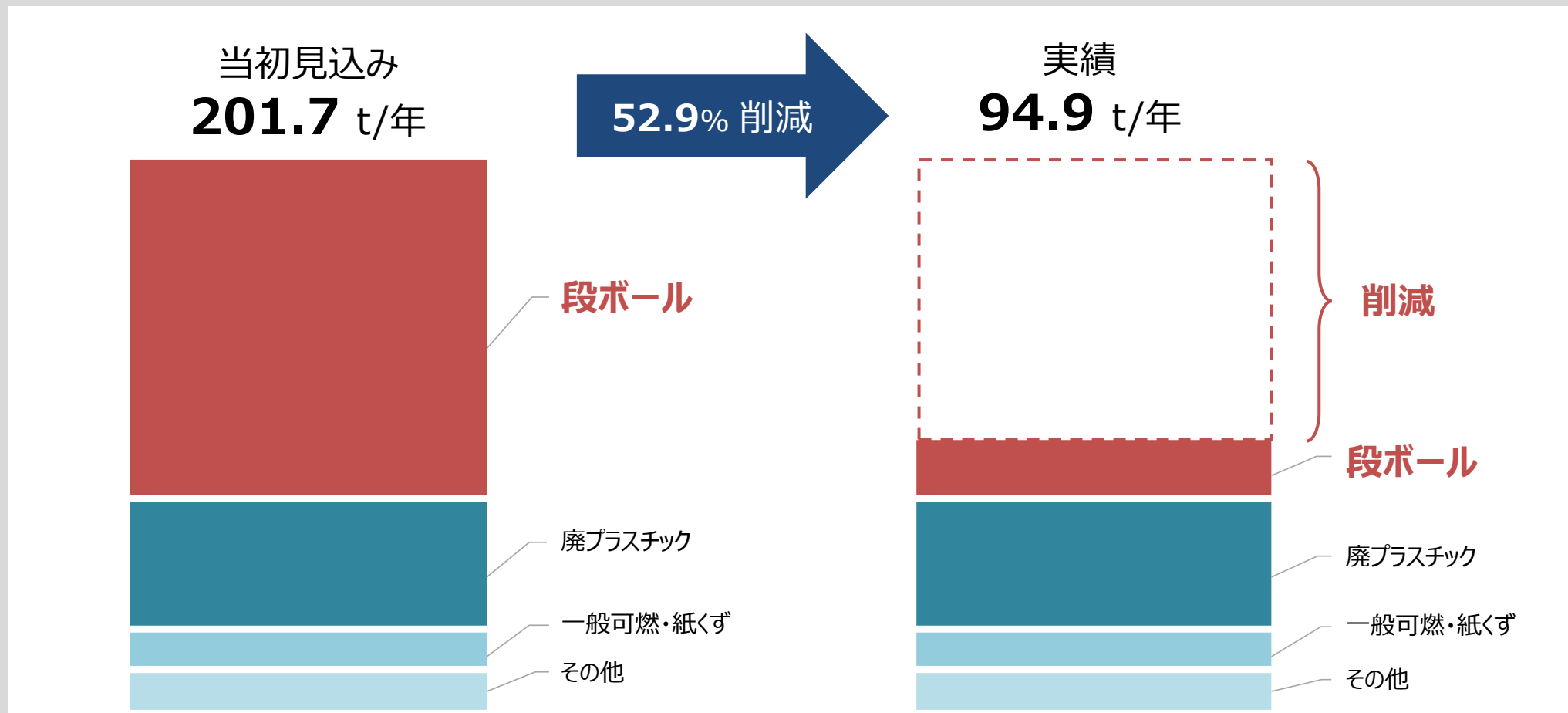
約**8.5%** 削減 (約**128**千kWh削減)

約**8.5%** 削減 (約**62**t-CO₂削減)

事例④ “段ボールの有価化” ～段ボールを廃棄物から有価物へ～

廃棄物排出量をなんと半減！

2018年度は、新機種導入に伴い、段ボール廃棄物が大幅に増加する懸念がありましたが、
廃棄物業者との交渉により、2018年9月から段ボールを有価化する事に成功しました。これにより、廃棄物排出量を半減することができました。



事例⑤ “廃棄物の分別” ～混ぜればゴミ、分ければ資源～

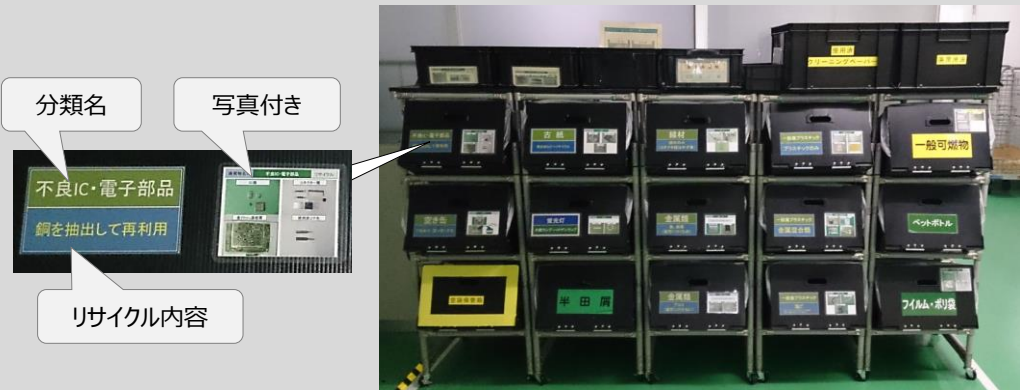
「有価物専用置場」の 設置！

事務エリアの「リサイクルステーション」に、「廃棄物」に加え「有価物専用置場」を設けることで、 廃棄費用が発生する物と有価になる物が区別できるようになり、分別の意識向上につながりました。



分別ラベルで 誤分別防止！

実装エリアでは、写真付きの分別ラベルを表示し、誤分別の防止を行っています。
また、このラベルには、リサイクル内容（例：銅を抽出して再利用）も表示されているためリサイクルを行う意味・意義を知ることができます。



多層基板	実装基板	ガラス	使用済 クリーニングペーパー	廃潤滑油
不良IC 電子部品	古紙	線材	廃プラ：プラのみ	一般可燃物
空き缶	蛍光灯	鉄金属	廃プラ：金属混合	ペットボトル
空き袋	半田屑	アルミ	塩ビ	フィルム・ホリ

事例⑥ “働き方改革” ～自社も他社も「働き方改革」進行中～

社員向け

有給休暇取得の促進

長時間労働削減への取り組み（働き方改革）として、全社一斉有給休暇取得奨励日と、個人別計画年次有給休暇を設定することで、年次有給休暇の取得を促進しています。

メリハリのある勤務の推進

毎週水曜日を「早残デー」、金曜日を「ノー残デー」として設定し、当日朝にメールでリマインドするとともに、夕方には音楽を流して早目の帰宅を促しています。

テレワーク・フリーアドレスの導入

営業メンバーを中心にLTE対応PCへの入れ替え、SIM提供による「テレワーク」を推進しています。

東京オフィスでは、社員に決まった席がなく、自由な席に着いて、周囲とコミュニケーションしながら仕事ができる「フリーアドレス」を進めています。

お客さま向け

「働き方改革EXPO」への出展

「働き方改革」を実現するための課題を解決するための提案を訴求しています。

ワークスタイル改革支援サイト Work x IT

ワークスタイルの改革をめざす企業のための情報を発信しています。

VAIOを活用することで実現できる新しいワークスタイルを提案しています。

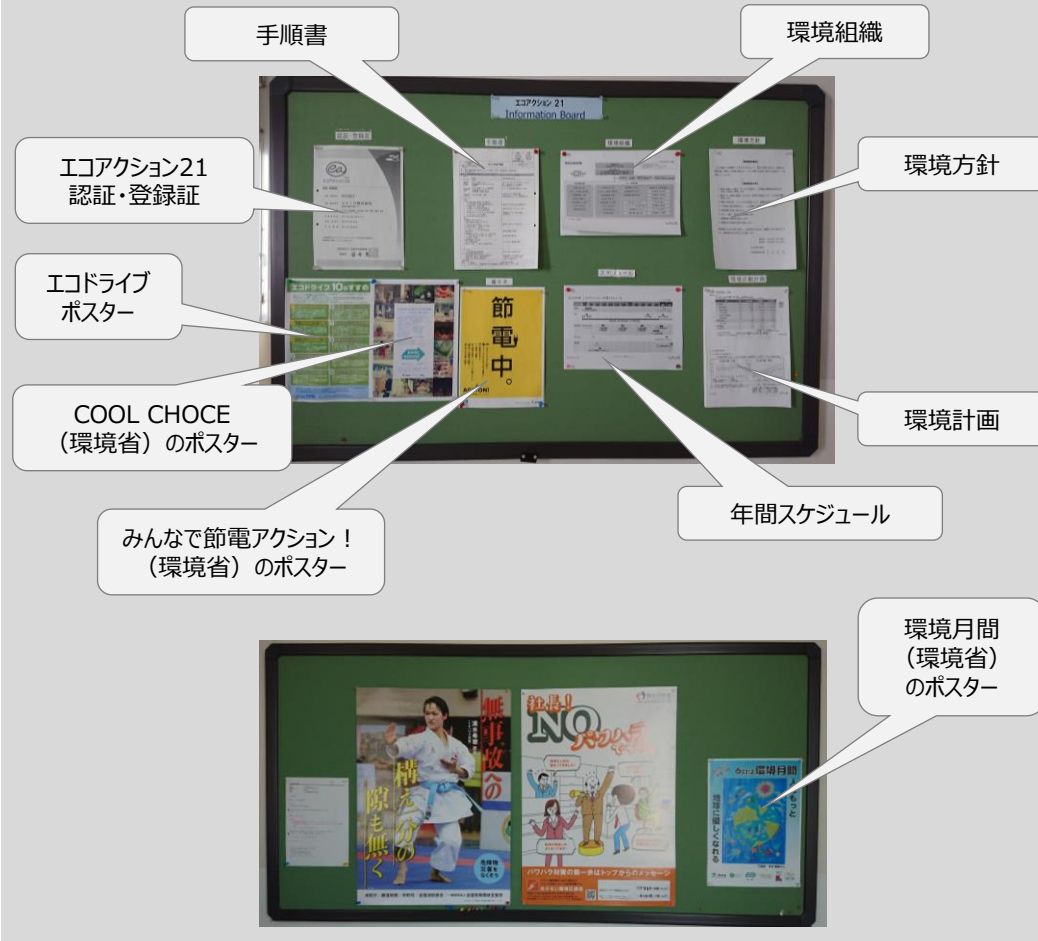


<https://workit.vaio.com/>

8. 環境コミュニケーション

エコアクション21 Information Board

VAIO株式会社では、全従業員が見ることができるように、社員食堂出口に「エコアクション21 Information Board」を設置しています。



エコアクション21 ポータルサイト

VAIO株式会社では、従業員向けに「エコアクション21 ポータルサイト」を運用しています。

環境経営方針や手順書など、環境経営に必要な文書や記録などにすぐアクセスでき、内部コミュニケーションに大きく役立っています。



ホームページによる環境情報開示

VAIO株式会社における「環境配慮への取り組み」を、ひとりでも多くの方に知っていただくため、弊社ホームページに「環境情報」を掲載しています。

<https://vaio.com/environment/>



9. 環境教育・緊急時対応訓練

環境教育

環境一般教育（2018年6月）

全社員269人受講



環境管理物質フタル酸について（2018年10月）

電気設計16人受講



SDGs 環境教育（2018年12月）

全社員266人受講



新人研修（2019年4月）

2019年4月入社の新入社員5人受講



緊急時対応訓練

安否確認訓練（2018年7月）

全社員256人参加

危険物倉庫入出庫訓練（2018年8月）

化学物質取扱者9人参加

施設実務教育（2018年8月）

ファシリティ関係者3人参加

設備不具合・緊急時対応訓練（2018年8月）

ファシリティ関係者4人参加

本社警備室 自主防災訓練（2018年10月）

警備室4人参加

本社防災避難訓練（2018年11月）

本社勤務者、協力会社、お客様、東京オフィスからの出張者 計289人参加

東京オフィス避難訓練（2018年11月）

東京オフィス在室6人参加

10. 社会貢献活動

社会科見学 \祝！10,000人 突破／

VAIO株式会社は近隣小学校の社会科見学を受け入れています。長野・安曇野の地に工場を構えて57年*。約10年前*から受け入れを開始し、本日のグループで、記念すべき10,000人目の小学生を受け入れることができました。

大人でも見る機会が少ない「パソコンの組み立て工程」を中心に見学。ひとつひとつの作業を熱心にみつめ、一生懸命メモを取り質問をする児童たち。見学を通じてVAIO社員の製品にこめた想いが少しでも伝わることを願いつつ、働いている我々にとっても新たな視点を感じた一日になりました。（2018年10月15日）



* 前身会社を含みます。

食堂廃油を「障害福祉サービス施設」へ提供

弊社食堂から出される廃油“天ぷら油”を施設にて引取り。

施設では、これらを家畜飼料に加工しています。



ペットボトル・空き缶 を「障害者就労施設」へ提供

弊社から出される飲料用の“ペットボトル”および“空き缶”を施設にて引取り。

施設では、これらを分別・減容・圧縮化し、リサイクル工場へ出荷しています。



地域美化清掃活動に社員約90人が参加

VAIO株式会社は、年2回（5月、10月）開催される「安曇野市豊科地区一斉清掃」に会社として参加しています。

始業前の約1時間、会社周辺道路や公共施設でのゴミ拾いを実施しています。

2018年10月25日 45人参加



2019年5月22日 44人参加

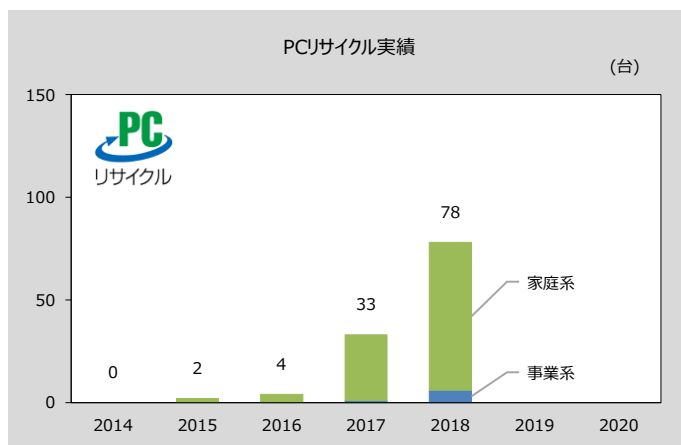


11. 使用済み製品のリサイクル

パソコンリサイクル

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、ご不要となった弊社製パソコンの回収・再資源化を行っています。

弊社製パソコンは「PCリサイクルマーク」を表示しておりますので、お客さまに新たな料金をご負担いただくことなく、弊社が回収・再資源化いたします。



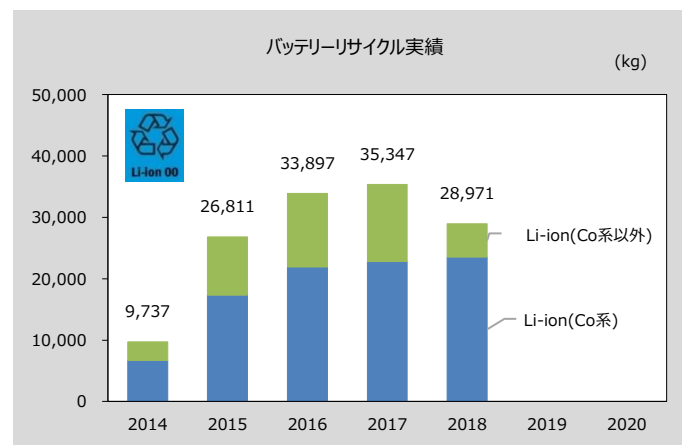
家庭系/事業系	回収・再資源化台数
事業系	6 台
家庭系	72 台
合計	78 台

VAIO株式会社は、一般社団法人 パソコン 3 R推進協会 の会員です。

バッテリーリサイクル

製品に用いられている充電式電池（バッテリー）には、リサイクル可能な希少金属材料が使用されています。

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、製品に搭載している充電式電池（バッテリー）の回収・リサイクルの推進に努めています。



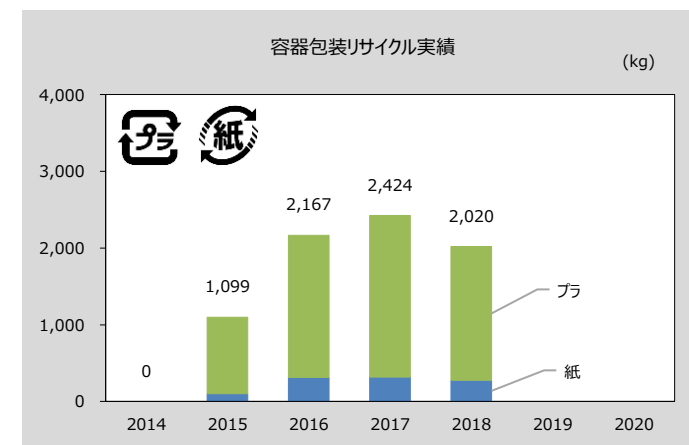
電池種別	リサイクル委託重量
Li-ion (Co系)	23,524 kg
Li-ion (Co系以外)	5,446 kg
合計	28,971 kg

VAIO株式会社は、一般社団法人 JBRC の会員です。

容器包装リサイクル

VAIO株式会社では、「容器包装リサイクル法」に基づき、容器包装の再商品化の推進に努めています。

弊社製品に用いられている容器包装には、「資源有効利用促進法」に基づき、識別マークを表示しています。



素材	再商品化委託重量
紙製容器包装	277 kg
プラスチック製容器包装	1,743 kg
合計	2,020 kg

VAIO株式会社は、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 の会員です。

12. 環境関連法規制の遵守評価

製品およびサイトに関する環境関連の法令、規則、条例等の遵守評価の結果、すべて遵守していることを確認しました。

また、会社設立以来、違反、訴訟および勧告等の発生はありません。

※遵守評価結果 ○：遵守

法規制	遵守評価結果
大気汚染防止法	○
安曇野市公害防止条例	○
騒音規制法	○
長野県公害防止条例（告示）	○
水質汚濁防止法	○
高圧ガス保安法	○
消防法	○
オゾン層保護法	○
廃掃法（産業廃棄物）	○
廃掃法（特別管理産業廃棄物）	○
廃掃法（一般廃棄物）	○
工場立地法	○
長野県景観形成条例	○

法規制	遵守評価結果
家電リサイクル法	○
建設資材リサイクル法	○
下水道法	○
フロン排出抑制法	○
資源有効利用促進法	○
小形家電リサイクル法	○
容器包装リサイクル法	○
省エネ法	○
化審法	○
化管法	○
グリーン購入法	○
水銀環境汚染防止法	○

13. 環境マネジメントレビュー

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境経営方針	2018年7月24日に「環境方針」を「環境経営方針」へ改訂 SDGsへの貢献を明記	問題なし
環境活動組織	全組織を対象 2018年度は環境管理責任者が正・副ともに変更 東京オフィスは部署が増加	問題なし
環境経営目標・計画の達成状況 製品環境負荷低減活動	・2018年度の結果 ① 製品本体重量の削減 モバイルPC：○ A4フルノート：○ ② 年間消費電力の削減 モバイルPC：× A4フルノート：○ ③ オフ時消費電力の削減 すべてのPC：○ ④ PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化 すべてのPC：○ 上記②モバイルPCの消費電力目標未達の要因 ・優良事例 “梱包の小型化” ～環境に配慮してより薄く、より軽く～ “金型の流用” ～金型パーツの流用で初期投資と環境負荷を削減～	モバイルPCの消費電力削減は目標未達で評価結果“×”となっているが、追加機能によって性能アップとAC電源を使わずモバイルバッテリーを使用できるという新しい提案もできているので、それらも加味した評価をすること。×ではなく△。 2018年度は商品力UPのために消費電力が上がったが、次期モデルは新規設計になるので、改善すること。 包装の小型化や金型の流用など、環境にもよい取り組みができている。遠慮せず積極的にアピールして欲しい。
サイト環境負荷低減活動	・2018年度の結果 ① CO2排出量の削減：○ ② 廃棄物排出量の削減：○ ③ リサイクル率の向上：○ ④ 水道使用量の削減：○ ⑤ グリーン購入率の向上：○ ・優良事例 “実装ラインの戦略的削減” ～実装設備リース料と環境負荷を削減～ “段ボールの有価化” ～2018年9月より段ボールを有価化することに成功～	売上が伸びているのでCO2や廃棄物が増えると思っていたが、よくコントロールされている。 実装ラインの戦略的削減は、思っていたより大きなCO2削減につながっているし、段ボールの有価化も廃棄物削減に大きく貢献できている。
部門特有環境活動	・全部署で取り組みテーマを決め活動。 ・3か月毎に進捗確認を実施。	各部門での活動結果として部門サマリーがあると、部門ごとの取り組み結果がわかりやすくなるので検討して欲しい。
SDGs および働き方改革への取り組み状況	・SDGsへの取り組み VAIO(株)の取り組みが、SDGsの17のゴールのどこに貢献しているかを分析 ・働き方改革への取り組み 社員向け： ・有給休暇取得の促進 ・メリハリのある勤務の推進 ・テレワークの推進 お客さま向け： ・ワークスタイル改革支援サイトWork x IT ・「働き方改革EXPO」への出展	SDGsは項目がいっぱいあってとっつきにくかったが、自分たちがどこの領域をやらなければいけないのかが非常にわかりやすくなった。我々が取り組んでいるSDGs領域における評価（○×△）をするとベスト。

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境マネジメントシステムの運用・改善状況	・文書の制定・改訂状況 ・製品環境アセスメント全モデル完了 ・製品含有化学物質管理：基準改定、chemSHERPAへの移行完了 ・環境関連法規制新規/改正等の対応：問題なし ・使用済み製品のリサイクル実績：PC:増加 バッテリー:減少 包装:減少 ・エコアクション21中間審査：ガイドラインに適合 ・環境教育・訓練：11項目の教育・訓練を実施	問題なし
遵守評価の結果	・製品環境：すべて遵守していることを確認 ・サイト環境：すべて遵守していることを確認	問題なし
問題点の是正・予防状況	・製品環境：0件 ・サイト環境：0件	問題なし
環境内部監査の結果	EA21ガイドライン2017に適合を確認	問題なし
利害関係者（顧客や地域住民、行政など）からの要望事項	要望事項：外部からの要望事項なし 外部コミュニケーション：問い合わせなどにも適切に対応	問題なし
社会貢献活動の状況	・地域美化清掃活動に社員約90人が参加 ・長野県内の小学校9校776人が工場見学 ・食堂廃油（天ぷら油）を障害福祉サービス施設へ提供 ・使用済みペットボトル・空き缶を障害者就労施設へ提供	問題なし
その他重要と思われる情報	今回は特になし	特になし



環境責任者（代表取締役社長）による全体評価		見直し指示
環境経営方針	☐ 変更必要 ☒ 変更不要	継続してください。
環境経営目標・計画	☒ 変更必要 ☐ 変更不要	モバイルPCの消費電力は、性能アップやユーザーの利便性向上で2018年度は悪化したが、次年度の新規モデルでは改善すること。
実施体制	☐ 変更必要 ☒ 変更不要	継続してください。

5周年を迎え、名実ともに長野県を代表する企業として、環境問題にも取り組みます。

VAIOは、VAIO株式会社へ。VAIOはもう終わった、という人がある。単なる事業整理だ、という人がある。たしかに、メンバーはたったの240人。大きな集団は、小さなPCメーカーになった。しかし。いや、だからこそ。我々の目の前には今、無限の地平が広がっている。ここには、かつてVAIOの遺伝子だったものがある。ここには、野心と技術と、確かな熱量が息づいている。我々は、ピュアでひたむきなチャレンジャーだ。あらゆるものから自由になった今こそ、思い切った決断ができる。VAIOの未来に必要なものを見きわめること。そこにすべての力を集中し、PCにはびこる固定観念を変えること。このチームなら、それができる。きっと。

自由だ。変えよう。

VAIO

※7月1日、設立。VAIO株式会社 VAIO.COM

5年前の今日。VAIOは商品から株式会社になった。大企業から独立して自由になった私たちを、世間は注目した。けれど、うまくいくと思った人はどれくらいいただろう。後ろ盾を失った240人の会社が、本当にやっていけるのか。PCが最先端の時代は終わったんじゃないか。独立のニュースが落ち着くと、そんな空気を感じた。実際に、離れていった人もいた。それでも、なんとか今日までやってこられたのはなぜか。信じてくれる人がいたからだ。とにかくやってみましょう、と言ってくれる人がいた。満足いくまで追い込んだ品質に、共感してくれる人がいた。数千人が使う会社PCとして、採用してくれる人がいた。大切な設計や製造を、託してくれる人がいた。独り立ちしたはずのVAIOは、もう独りではない。PCだけをつくるVAIOでもない。何かをつくりたいという明確な意志を持つ人たちと、この世界に本当に必要なものをつくる会社へ。技術。体力。自信。準備はできた。いよいよだ。今、私たちの心は躍っている。あなたと何をつくるうか。



信じてくれる人と、

VAIO

5th
ANNIVERSARY



「VAIO環境経営レポート2018」を最後までお読みいただきありがとうございます。

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、
身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、
永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

